

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-161	
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp			
部分開口 構造用合板補強工法					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会				
大壁「押入」裏棧あり					実験実施機関 :名古屋工業大学				
概要	技術概要 押入の床及び天井の間で段板を除いた部分を構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
	<ul style="list-style-type: none"> 天井・床・中段・枕棚/天袋を解体することなく補強が可能 一般流通品なので取り扱いが容易 						サンプル構面	29,782 円/kN (2P 換算)	
						設計見積り例	—		
適用範囲					写真・図				
構法		木造在来軸組工法			<p>部分開口 $a+b \leq 370\text{mm}$ $c+d \leq 400\text{mm}$ それぞれの構造用合板高さ 400mm 以上 上下受材は正面から見て 45mm $600 \leq W \leq 1000$</p>				
規模		3階建て以下							
基礎、地盤		特になし							
適用部位		内外壁							
耐震性能									
評価仕様:大壁直貼仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
3.12kN/m		438kN/rad./m							
A-111 からの低減係数 $\alpha = 0.6$									
壁基準耐力 $5.2 \times 0.6 = 3.12$									
設計方法									
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること									
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
主要構成部材の仕様									
仕様	構造用合板		大壁、厚 9mm、各高さ 400mm 以上						
			釘 N50、CN50、@150mm 以下、間柱打ち、四周打ち、端あき 15mm 以上 20mm 以下						
	間柱		三ツ割材以上、釘 N50、CN50 @150mm 以下						
	継手受材		なし						
	上下受材		奥行 90×見付 45mm 以上、釘 柱に対し 2-N75 斜め打ち、間柱に対して、継手受材、上下受材負け						
	四方受材		なし						
	下地材		なし						
	アルミアングル		なし						
かさ上げ材		なし							
その他									